

登り易さで人気のある奥武蔵の山 伊豆ヶ岳

実施日 2013年4月8日(月)
 天候 晴れ
 リーダー 石原 勝正
 S L 伊藤 久雄
 参加者 若村勝昭、若村貴代子、石附智恵、渋谷賢寿、伊藤久雄、石原勝正、石附智子 計7名
 費用 池袋駅⇒正丸駅650円 吾野駅⇒池袋580円 計1,230円
 タイム 正丸駅(9:10~9:35)正丸峠分岐(9:38~10:55)伊豆ヶ岳(11:10~11:25)古御岳(12:00~12:30)高畑山(12:40~13:00)中沢の頭(13:03~13:25)天目指峠(13:30~14:25)子の権現(14:45~16:05)吾野駅

正丸駅の広場から斜めになった勾配のきつい階段を下り、梅、コブシ、水仙、ツツジ、桜、桃の花が咲いている里山の舗装道のんびり進むと25分ほどで馬頭尊のある正丸峠分岐点に到着する。



伊豆ヶ岳は左の道に沿って進む。沢筋に岩場があるところを足元に注意して進む。30分ほど尾根を離れて

上がる急坂になり木の根やロープを足がかりにして登る。急坂を登りきると小さな広場を過ぎてしばらく進むと正丸峠からの主脈縦走路(関東ふれあいの道)に合流する。尾根筋で風が強く体感温度が急に下がるので防寒衣を着て稜線を登る。



五輪山という小さなピークを過ぎると男坂の下に出る。男坂入り口から岩壁につけられた鎖場がみえる。伊豆ヶ岳の名所といわれる難所で落石などが多いため、登る場合は自己責任でという趣旨の警告板が設置されている。我々の前を歩く2-3組のパーティが男坂に向かうのを横目に見て、こぶし会のパーティは安全重視の方針から危険を避けて右にある女坂を進むと伊豆ヶ岳山頂手前の広場に到達する。この日は天気がよく風も強



展覧場。休憩の時間を有効に活用し、展望の東が遠く、景色が素晴らしい。15分ほどと

次の古御岳に向かう。伊豆ヶ岳山頂からロープ、ザレ場、落ち葉のある急坂を注

意深く100メートルほど下った後、登り返して12:00(正午)に古御岳山頂に到達する。展望は開けていないがベンチや東屋のある山頂で昼食をとり、30分ほどの休憩・フォトタイムの後関東ふれあいの道としてハイキングコースに指定されている高畑山、中沢の頭、天目指(アマザス)峠、子の権現を目指して進む。古御岳から標高差の小さい主脈縦走路を



のピークを通過して1時間25分ほどで舗装道を横断する天目指峠に到達する。天目指峠からは子の権現までのコースとなっているが距離もありアップダウンが続き展望もないため後半ややハードな山歩きとなった。

最後は子の権現の境内にある金色の草の前で全員のフォトタイムを取り、山

寺の山門にある仁王様に別れを告げて、吾野駅に向けて帰路についた。今日の山行は前日の7日に予定されていたが、低気圧の発生により悪天候が予想されたため、翌日の8日(月)に変更実施したものとなった。



天候はやや風があったが晴天に恵まれたハイキング日和で楽しい春の1日を過ごすことができた。



(記&集合写真・石原 勝正)
(写真提供・伊藤久雄)